



2021年2月5日

各 位

会 社 名 ヒューマンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 朋也
(J A S D A Q ・ コード 2 4 1 5)
問合せ先 取締役経営企画担当 佐藤 安博
(T E L : 0 3 - 6 8 4 6 - 8 0 0 2)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期 通期連結累計期間の業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期 通期連結累計期間の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,812	1,415	1,499	288	26.52
今回修正予想 (B)	85,350	1,900	2,300	850	78.14
増減額 (B-A)	△462	484	800	561	—
増減率 (%)	△0.5	34.2	53.4	194.7	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	85,989	2,002	2,127	848	78.00

2. 業績予想修正の理由

2021年3月期通期連結累計期間の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明ななか、当社グループにおいて新型コロナウイルス感染拡大防止策を施しながら事業が継続していくこと、入国制限による各事業への影響が本事業年度中は継続すること、本社オフィスをはじめとする各拠点の規模見直しや経営資源の最適配置に取り組むことを前提に算定いたしました。

各セグメントにおける新型コロナウイルス感染症の影響として、入国制限により人材関連事業における海外ITエンジニアの確保や、教育事業の日本語学校などで影響が生じているほか、介護事業におけるデイサービスの稼働率低下などの影響が生じており、売上高は前回発表予想を下回る見通しとなりました。その一方で、第2四半期における増収の影響に加え、グループ各社において経費削減に努めた効果が想定されることから、営業利益および経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	5.50	5.50
今回修正予想	—	16.00	16.00
当期実績	0.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	0.00	16.00	16.00

4. 配当予想修正の理由

2021年3月期の配当予想につきましては、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することとして、連結配当性向の目標を20%とする方針のもと、上記の業績予想を踏まえ修正いたしました。

なお、本件につきましては、2021年6月開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

※ 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上